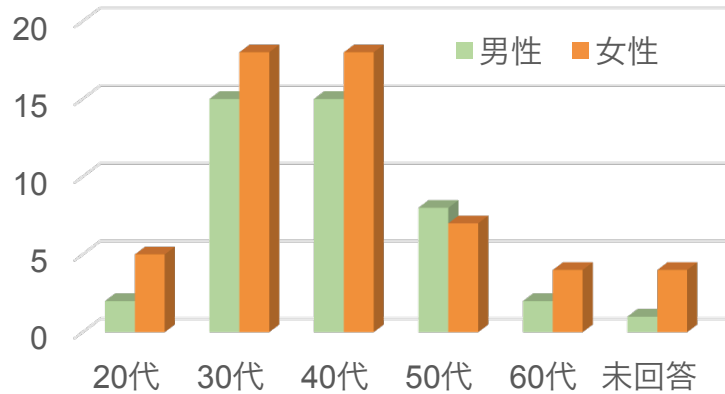


## ■ 参加者内訳

講演会にはこれまでで最多の121名のご参加をいただきました。多数のご参加ありがとうございました。幅広い年齢層の参加がありましたが、男性の参加が顕著に増えました(アンケート回答率81%、このうち男性43%)。



## ■ 講演内容の感想

大多数のかたから講演内容にご好評いただきました。

**86%**が

「女性医師支援・ワークライフバランス・男女共同参画への意識が「上がった」「少し上がった」と回答

**95%**が

「このような活動が必要」と回答

**92%**が

「とても良かった」「良かった」と回答

\*男性で33%、女性で67%が「とても良かった」と回答

## ■ 参加者からのコメント(多かった意見などから抜粋)

### 「女性自身の意識改革」

オファーを断らない重要性がわかった(30代女性)。

「最低限の臨床が精一杯」の時期です。オファーがあっても今は受ける気力がない(40代女性)。

仕事と家庭の両立で心が折れそうになっていたが講演で励まされた(30代女性)。



優遇だけでなく成長を考えながらキャリアアップさせることは素晴らしい(60代女性)。

限界を作らず上を目指し研鑽を積みたい。来年は母役に重点を置くが講演での励ましを心に必ず復帰し社会貢献したい(30代女性)。

### 「知ることの重要性」



今回のような話は初めて聞いた。男性こそ聞いてほしい(60代・40代男性)。

女性支援をそれなりに意識していたつもりだったがまだ足りていないと感じた。医師確保・女性キャリア支援の必要性を男性にどう伝えるかが難しい(40代男性)。

個人で悩むより全体データを知る機会があると救われる(30代女性)。

多くのデータ・実例とともに、具体的な課題と解決策を明確にお話くださりワークライフバランスの実現に希望がもてた(50代女性)。

### 「支援に伴う問題」

#### 「男女共通の問題」



今後は介護社会も進む。男女ともに意識改革が必要(30代女性・50代女性)。



#### 「対応策」

社会的枠組み・サポートの重要性を認識した。離職を防ぐには管理者世代の意識改革が必要(30代男性)。

支援がストレスになる場合があることも配慮しながら進められたら良い(60代男性)。

女性支援というと男性に他人感を与える。男性にも育児契機の離職があり男女は関係ない。男性の働き方を変えることが実効的(40代女性)。

女性として女性医師を支援してきたつもりだが、本人のモチベーションが大切。支援側の意見や思いも広めてほしい(40代女性)。